

地理空間情報の活用推進

日本科学未来館地球ディスプレイGeo-Cosmos (写真左上の球体)



地理空間情報を高度に活用する社会の実現に向けて取り組んでいます

地理空間情報活用推進基本法は、地理空間情報の高度な活用を推進し、国民が安心して豊かな生活を営むことができる社会を実現するための法律です。

政府や産学官が連携してそのような社会を実現するために、政府に地理空間情報活用推進会議が設置されました。国土地理院は、推進会議の事務局として連絡・調整等を行っています。

また、国民全体に地理空間情報に関する理解を深めてもらうために、小中学校や高等学校等に職員を派遣し、若い世代に地理空間情報の大切さや面白さを伝える地理教育の充実を図っています。

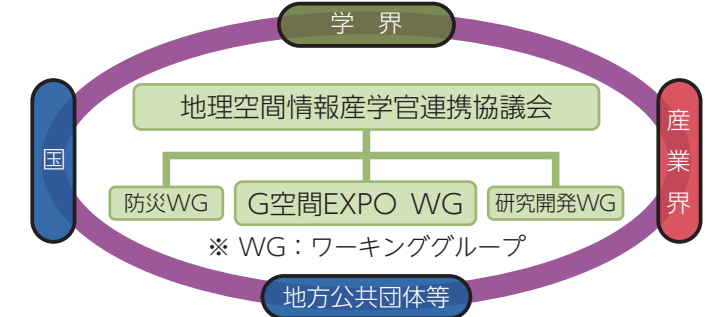
地理空間情報活用推進基本法
(平成19年5月成立)

地理空間情報活用推進基本計画
第3期：計画期間 平成29～33年度

地理空間情報の高度な活用に関する総合的かつ計画的な推進を図るため、政府が閣議決定により策定するもの。2020年(平成32年)開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする様々な場面において、IoT・ビッグデータ・AIなどの先端技術を活かした世界最高水準の地理空間情報高度活用社会(G空間社会)の実現に向けた取組を進めることとしています。

地理空間情報の活用推進に向けた産学官の連携・協力

地理空間情報に関する課題について産学官での情報共有を図り、地理空間情報の活用推進を目的として、「地理空間情報産学官連携協議会」が設置されました。国土地理院は、協議会の事務局として産学官の取組を主導しています。



G空間EXPO

G空間EXPOは、地理空間情報に関する身近なサービス・製品や、最先端の技術とそれに関わる産学官の関係者が一堂に会し、展示・講演・シンポジウム、体験イベント等を通じて広く一般の方々に地理空間情報を紹介するイベントです。

国土地理院は、主催事務局としてG空間EXPO全体を企画・運営するほか、ブースへの出展・講演・シンポジウム、Geoアクティビティコンテストを行っています。

「Geoアクティビティコンテスト」は、地理空間情報に関する独創的なアイデア、ユニークな製品、GISソフトウェア等の展示やプレゼンテーションを行うイベントです。優秀作品に選ばれたものは、国土地理院長から表彰されます。



国土地理院の展示ブース



Geoアクティビティコンテスト
プレゼンテーション会場

地理教育の取組

出前授業

小中学校や高等学校等に出かけて、測量や地図の大切さを伝えています。



都道府県の立体地図



都道府県の形のパズルに挑戦



本格的な実体視
地図が浮き上がって見える



地図クイズに挑戦！

「測量の日」にイベント開催

毎年、6月3日の測量の日にあわせて、各地で測量に関するイベントを行っています。



日本水準原点の前で現地講演